



2022年 3月 2日  
第148号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## イーハトーブ

3月1日号

2022年の春闘交渉が本格化スタートするこの時期、筆者は春闘に関わる内容を展開するつもりだったが、そのような思いを吹き飛ばす事態が発生してしまった。2月24日、ついにロシア軍は世界が注目する中でウクライナへの軍事侵攻を強行した。報道によると、ロシア軍は首都キエフなどの軍事施設をミサイルで攻撃して制空権を掌握、地上部隊が国境を超えて北部や南部に侵攻し首都キエフへの包囲網を狭めつつある。それに対してウクライナも徹底抗戦の構えだ。ロシアの蛮行はウクライナへの侵略戦争以外の何ものでもない。ロシアはウクライナへの侵略行為と無差別軍事攻撃を直ちに止めよ！

ロシア大統領プーチンは、米国主導の軍事同盟としての北大西洋条約機構（NATO）の「東方拡大」継続はロシアの脅威であると語り、今回の軍事行動がウクライナ国内のロシア系住民の保護が目的である、としている。かつてロシアとウクライナはソ連の同盟国だったが、1991年のソ連崩壊（冷戦終結）を経て独立を果たした。民主化政権樹立後、ウクライナ政府の欧米諸国との親密化が加速するにつれロシアとウクライナは衝突を起こしている。ウクライナがNATOに加盟すれば、ロシアの隣国に対しロシア攻撃の前線基地が完成するわけだから、ロシアからすればたまったものではないのだから。1962年、米国フロリダ沖のキューバがソ連の後ろ盾で核ミサイル基地を建設しようとして、一触即発核戦争の危機に世界が震撼したことを想起する。

しかし事態は一刻の猶予も許されない。すでに多くの犠牲者が発生し、今なお戦火が拡大し、街が破壊され尽くされようとしている。泣き叫び震える子供たち、脱出しようとして逃げ惑う人々の姿は痛ましく悲しい。重要なのは直ちに国連をはじめ各国がロシアによる戦争行為を止めさせることだ。勿論、ロシアを孤立させるのは駄目だ。米・露・中など超大国に国連は無効だとの指摘もあるが、諦めては駄目だと思う。ウクライナ危機以来、石油、天然ガス価格は上昇の一途である。エネルギー価格の高騰は、私たちの生活への影響が必至であり無関係ではない。日本政府は各国と協力して、ロシアのウクライナ侵攻を中止させるための外交に努めてほしい。

私はテロにも戦争にも反対である。労働者が加害者にも被害者にもなる道は絶対悪であり相容れる道理もない。(K・S)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちが外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。